

事業の基礎情報

実施主体	富山県南砺市
事業実施地域	南砺市利賀地域
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	観光・まちづくり
共創パートナー	南砺市 ・ 有限会社プランタン ・ 道の駅利賀 ・ レストランレヴォ ・ 株式会社パブリックテクノロジーズ
運行形態	デマンド交通
運行主体	有限会社プランタン

取組の概要

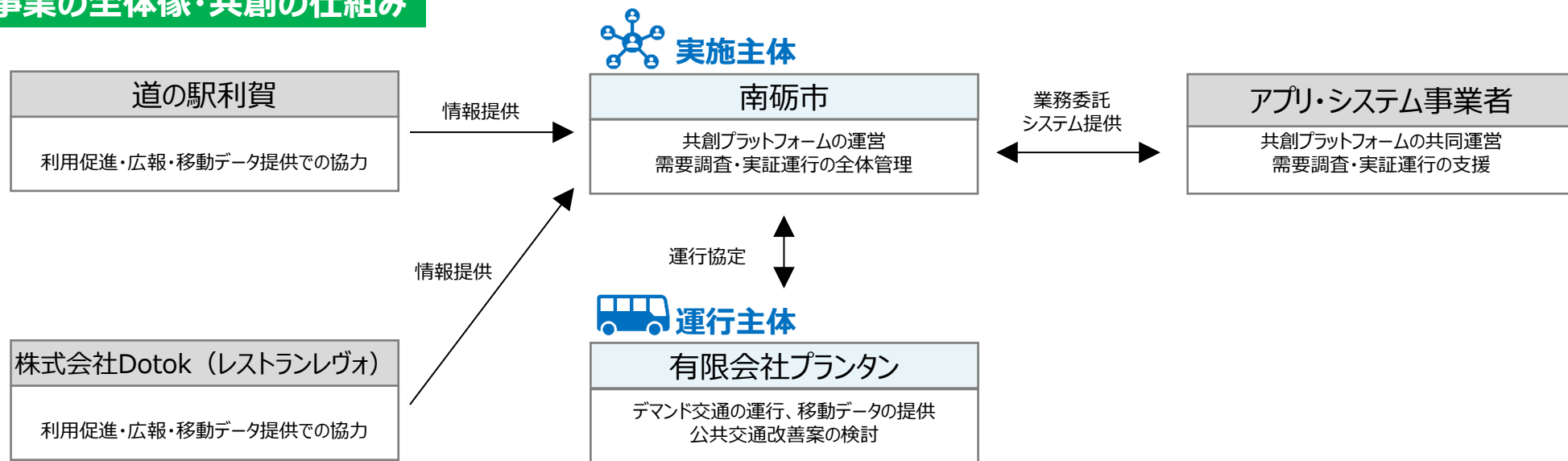
（現状の地域課題と事業目的）

南砺市では、地域の観光資源を十分に活用するための観光客の移動の足の確保、大規模公共工事に伴う滞在者の移動の足の確保等、交通サービスの拡充が求められている。特に利賀地域など、基幹路線と市営バスでカバーできない地域における移動需要への対応が必要である。そのため、本事業では、各公共交通機関や関連機関と協力し、市全域で生活及び観光における移動需要の現状調査と将来の需要予測を行うとともに、利賀地域にてデマンド交通の費用対効果を検証する実証運行を行い、公共交通の拡充を目指す。

（事業の概要）

南砺市公共交通の拡充及び最適化を進めるためには、具体的な方針策定のために移動需要の調査が必要である。そのため、南砺市・有限会社プランタン・道の駅利賀・その他民間事業者と協業し、移動データの取得、アンケート、ヒアリングを通して、需要調査を行う。また、公共交通が不足している「利賀地域」においては、デマンド交通の実証運行を行い、新規公共交通システムとしての費用対効果を分析するとともに、新たに発見された需要に基づき、公共交通の拡充を進める。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

本事業では、自治体、交通事業者、道の駅、レストラン、デマンド交通等に知見を有する民間事業者等に協力を求め、市内全域の移動需要を調査するとともに、南砺市公共交通の拡充および利用促進等に取り組むこととしている。多様な主体の共創によって公共交通サービスの向上だけでなく、地域への当事者意識の醸成や、地域活性化が実現するものと考えている。

(実証事業により見込まれる効果)

本事業の実施により、観光客・利賀地域の住民などで合わせて1月当たり約60人の移動の需要を満たすことができると見込まれる。特に、連携先となる予定の関連施設には、1月当たり約30人の利用人数が想定でき、地域の商業の活性化につながると考えられる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

【需要調査】

● 現況調査・マッピング

- ・自治体の基本情報、公共交通機関の状況等を集約
- ・視覚的に分かりやすいよう、適宜マッピングを実施

● 移動データの収集

- ・現状の公共交通機関の利用状況を調査（乗降者数等）
- ・住民の方々の移動データを収集
- ・収集した移動データをもとに、住民の移動需要を分析

● アンケートの実施

- ・仮想的な需要の分析
- ・公共交通に対する住民の評価・需要の把握

【実証運行】

利賀地域において、デマンド交通の実証運行を行う。

(補助事業実施後の予定)

本事業実施後は、本事業を通じて得られた調査結果・知見に基づき、本格運行を目指す。また、南砺市では、概ね5年後に行われる城端線・氷見線の事業譲渡等を見据えた市内全体を俯瞰した公共交通の再編を予定しており、これに対して本事業で得られた調査結果の反映を行う。

	調査	実証運行
7-8月	移動データの取得 アンケート/ヒアリングの実施 データ分析	運行準備 広報
9月		実証運行
10-11月 R6.2月		効果検証 実績報告